



2

こくさい
国際交流を
進める
さいたま市

つかむ

写真や資料から、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。



さいたま市の位置



国際友好フェア（屋台の様子）

さいたま市に住む外国の方

あきらさんたちは、「国際友好フェア」という、市民とさいたま市に住む外国の方が交流するイベントの写真やグラフなどを見ながら、気づいたことを話し合いました。



「外国の方がお店を開いているね。」



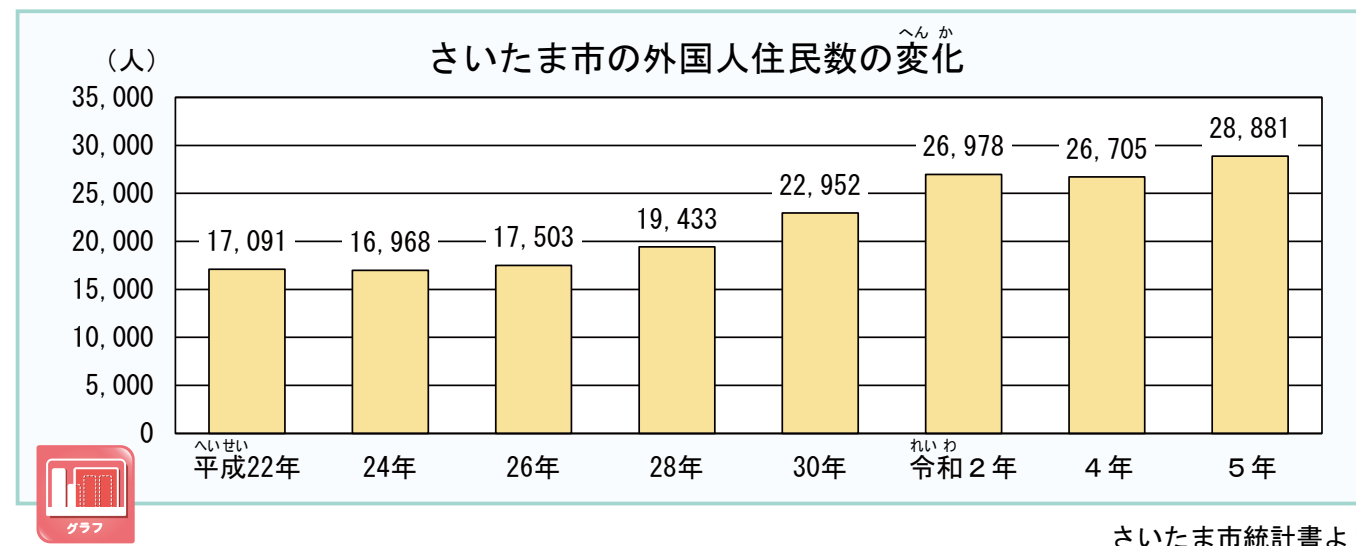
「外国の方と市民との交流が見られるね。」



「なぜ、このようなイベントがさいたま市で行われているのかな。」



国際友好フェア



「さいたま市に住む外国の方がふえているね。どうしてふえているのかな。」



「さいたま市に住む外国の方は、どんな国の人が多いのだろう。」



「さいたま市では、国際友好フェアのほかにどのような交流を行っているのかな。」



「さいたま市に住んでいる外国の方は、さいたま市でどのようにくらしているのかな。」

あきらさんたちは、話し合ったことをもとに、学習問題をつくりました。

学習問題

さいたま市では、外国の人々と、どのような交流をし、どのようなまちづくりをしているのでしょうか。

調べ方

- ・インターネットでさいたま市の国際交流について調べる。
例：「さいたま市役所」「国際友好フェア」「国際交流」
- ・さいたま市の人や地いきの人に話を聞く。





調べる

さいたま市は、どのような国際交流をしているのでしょうか。

国旗

日本や外国には国旗があります。国旗は、国を表す目印です。その国の人々の願いや気持ちがこめられていて、とても大切にされています。

国際交流の取り組み

さいたま市は今、6つの都市と姉妹・友好都市を結び、交流をしています。

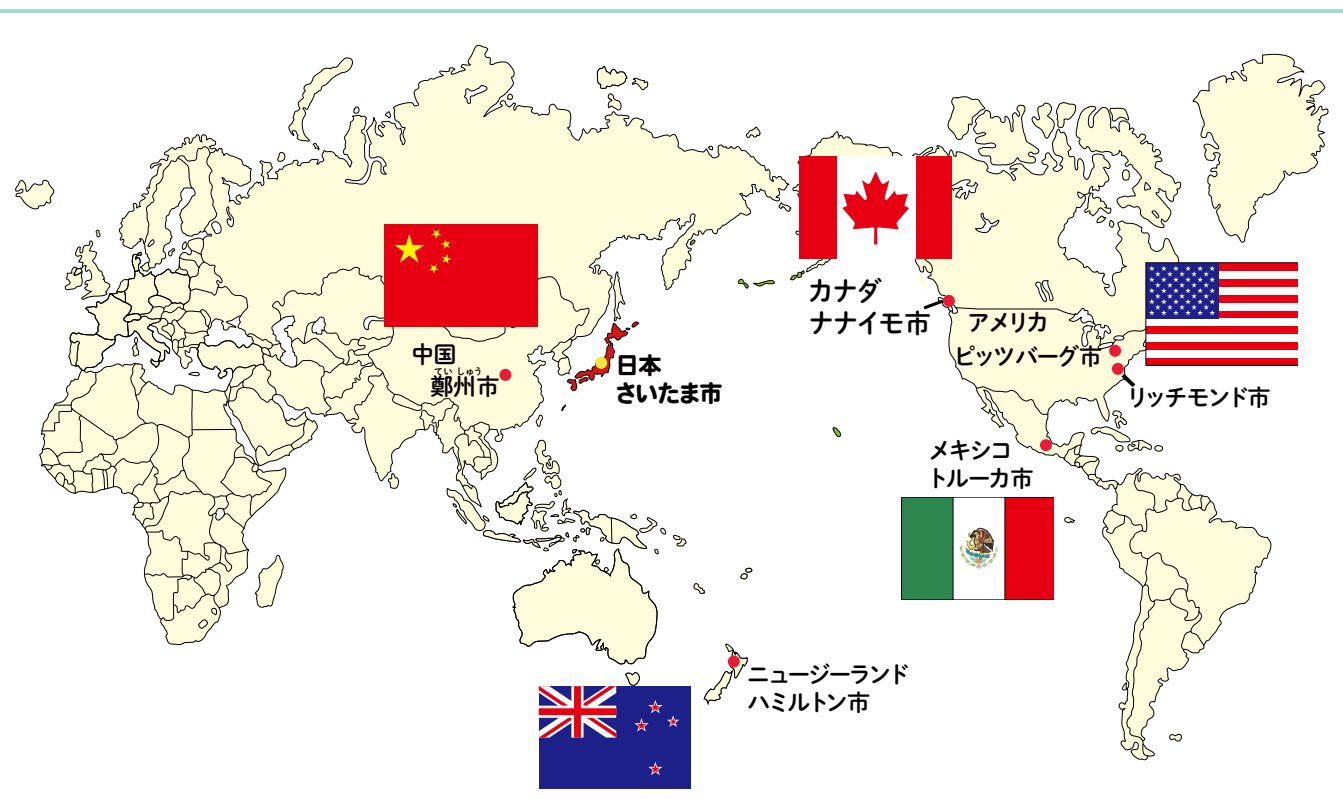


「世界のさまざまな都市と交流しているね。」



「市は、どのような交流の取り組みをしているのかな。」

あきらさんたちは、市役所で国際交流の取り組みについて、話を聞きました。



さいたま市と交流している姉妹・友好都市とその国・国旗

年	国・都市	年	国・都市
1979	トルーカ市 (メキシコ)	1994	リッチモンド市 (アメリカ)
1981	鄭州市 (中国)	1996	ナナイモ市 (カナダ)
1984	ハミルトン市 (ニュージーランド)	1998	ピッツバーグ市 (アメリカ)

さいたま市の姉妹・友好都市年表



ツールドフランスさいたまクリテリウム

(提供：©Saitama.city)

さいたま市観光国際課の人の話



さいたま市では、5カ国6都市と姉妹・友好都市を結んでいます。特に小学校のスポーツ交流がさかんで、毎年トルーカ市とはサッカーでの交流、リッチモンド市とは野球での交流をしています。おたがいの国をおとずれて、直せつ外国の文化にふれ合ったり、子どもたちが仲良くなったりしてほしいと思っています。

ほかにも、さいたま市では自転車の国際大会も開かれ、多くの外国人選手が参加しています。



「スポーツによる国際交流がさかんに行われているんだね。」



「ほかにはどのような交流をしているのかな。」

姉妹・友好都市

文化などで交流し、おたがいを知り合って仲良くすることを目指して結ばれた、都市と都市の関係です。



スポーツ交流 (サッカー)



スポーツ交流 (野球)



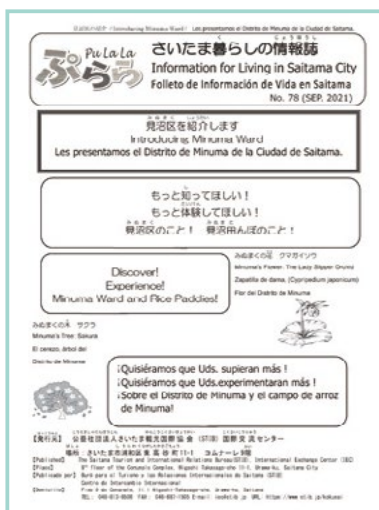
国際ふれあいフェア



ホームビジット

調べる

さいたま市では、どのような国際交流の取り組みが行われているのでしょうか。



5つの言語で書かれた生活情報誌「ぷらら」

国際交流センターの取り組み

さいたま市には国際交流センターというところがあります。ここでは、市役所と協力して、さいたま市に住む外国人市民に対して、さまざまな取り組みが行われています。あきらさんたちは、どのような取り組みが行われているのか、国際交流センターで話を聞きました。

国際交流センターの人の話



国際交流センターでは、外国人市民の方が、楽しく安心してらせるように、さまざまな取り組みをしています。たとえば、おどりや食べ物を通して外国人市民の方とふれ合う国際ふれあいフェアや、日本の家庭をほう問してふだんの生活にふれるホームビジットなどです。ほかにも、生活にこまらないように日本語の学習しえんを行ったり、生活の相談を行ったりしています。また、国際交流センターでの取り組みは、約1,600人以上のボランティアの方々に手伝ってもらったり、市と協力したりすることにより行われています。



「外国人市民との交流活動だけでなく、外国人市民が安心してらせるようなしえん活動も行われているんだね。」



「多くのボランティアさんの力によって、国際交流センターの活動が行われているんだね。」



生活相談の様子

ボランティアの取り組み

さいたま市では、地いきのボランティアの方々も外国人市民との交流活動やしえん活動に取り組んでいます。中でも日本語を教える教室は多く、市内でも19か所ほどあります。

いわつき国際交流会日本語プラザでは、外国人市民がふだんの生活を不自由なくすごせるよう、一人一人に合った日本語の学習のしえんをしています。また、春にお花見をしたり夏に岩槻まつりに参加したりするなど、季節に合わせたイベントも行っています。

調べる

地いきの人たちは、どのような交流の取り組みを行っているのでしょうか。



学習の様子（2020年）



夏の岩槻祭りの時の様子（2019年）

提供：いわつき国際交流会 日本語プラザ



外国人市民委員会の様子

調べる・まとめる

さいたま市に住む外国人は、どのような取り組みをしているのでしょうか。

学習問題

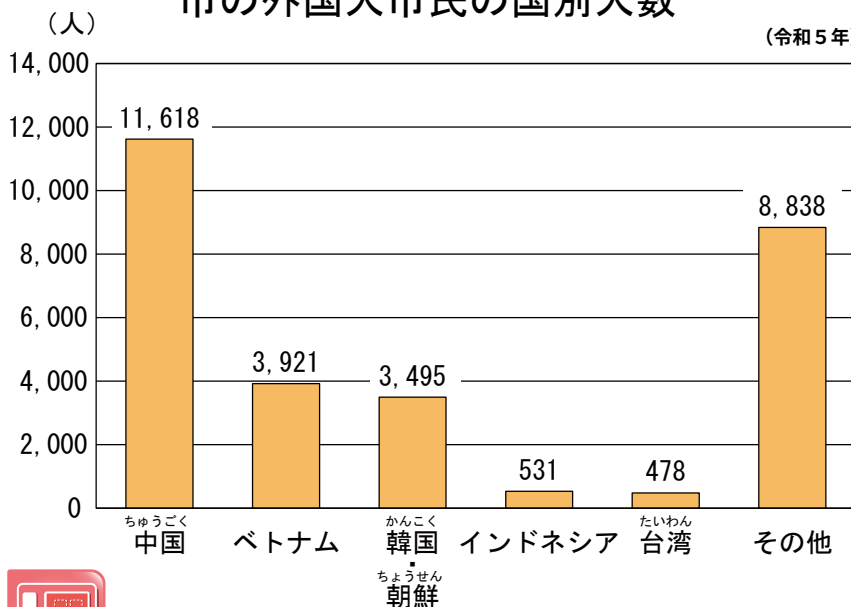
さいたま市では、外国の人々と、どのような交流をし、どのようなまちづくりをしているのでしょうか。

多文化共生

ちがう国の人々が、おたがいの文化のちがいをみとめ合い、対等な関係をつくりながら、地いきの社会の中で共にくらししていくことです。

市の外国人市民の国別人数

(令和5年)



さいたま市統計書より

今、学校の給食では親の代にはなかった多文化のメニューがふえてきています。すごくよいことだと思います。さらに、子どもと親の両方に給食のメニューについて説明をして、ことなる文化について学ぶ機会があってもよいのではないのでしょうか。

外国人市民委員会が出た意見の一部

多文化共生へ向けて

さいたま市では、外国人市民といっしょに地いきで共に生きていくために、外国人市民委員会という活動があります。さいたま市に住んだり、さいたま市で働いたりしている外国人から委員を決めて、実さいに生活していてこまっていることなどを話し合っています。



「外国人市民にとっても、日本人にとっても、共に住みやすいまちになるように活動しているんだね。」